

# Governor's Monthly Letter

2016-2017 第2610地区活動方針「語り合おう ロータリー」



ユネスコ無形文化遺産「城端曳山祭」



## ロータリーは素晴らしい

「光陰 矢の如し」。ガバナーに就任して以来、責任の重さに押し潰されそうな日々を過ごしながら、ようやくこの日を迎え、今、ガバナー月信最終稿に取り掛かっております。素晴らしい体験と、多くの人との出会い、深い友情に包まれたこの一年間。このような機会を与えていただいた関係する皆様に衷心より深く感謝と御礼を申し上げたい気持ちで一杯です。

人生には、「上り坂、下り坂、まさか」があります。ガバナーを薦められたときはまさに晴天の霹靂であり、決心をするには清水の舞台から飛び降りる以上の蛮勇が私には必要でした。ガバナーを拝命してからは、大きな問題が起きないことをひたすら願い、大過なく一年間を過ごせるように祈るばかりでありました。私の願いとは裏腹に、前年度4月に開催された規定審議会での大幅な定款改正は、ガバナー公式訪問と同時期に告知され、地区内各クラブに大きな波紋を広げました。また、ロータリー財団100周年記念の取り組みや寄付金“ゼロ”クラブ解消問題、海外地区と2610地区との友好関係問題、著作権侵害問題など、様々な解決課題が生じてまいりました。しかしながら、小さいながらも企業を営んでいる経験から、問題の発生は事の大小はともかく日常的に起こりうるもので、問題から逃げずに常に正攻法で向かっていく事が私の生甲斐と考えてきました。むしろ問題の発生は、活動している証であり、自分の励みにも繋がると前向きに捉えることができました。

ロータリーは素晴らしい。「超我の奉仕」、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」、「四つのテスト」など、奉仕の理念を心に刻みながら、日々実践に心掛けることは、人の生き方そのものであると考えています。「入って学び、出でて奉仕する」ロータリーはまさしく人生の学習の場であります。ロータリーには「NOはない」と先輩達から薫陶を受けて参りました。職業上の倫理観を高め、より高潔さを目指すことは、人間形成の大きな指針となります。私たちはポール・ハリスの言う「寛容・慈愛・忍耐」、「他の人のお役に立つ行いをしよう」の言葉を日々耳にしたり語ったりしますが、これらは人間力を育み人間味を深める大きな人生目標に活かされます。クラブ活動の中で常に繰り返されるこれらは全てロータリーの大きな魅力であると私は確信しています。また同じ理念を持ち、実践を心掛けている仲間の証として、常にロータリーバッジを胸に装着しています。私は仲間を裏切らないよう、自制心と挑戦意識を自分に言い聞かせ付けています。入会して日が浅い頃は例会やロータリーの行事にはバッジを付けて参加しますが、日常付け続けるには勇気がいりました。皆さんは如何ですか。「不易流行」ロータリーは今、大きく生まれ変わろうとしています。しかし、基本的理念は変わってはいません。奉仕活動は人生に豊かさの彩を加えてくれるもとロータリーから学びました。

次年度は、下口幸雄ガバナーよりロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)の委員長を任命されました。ロータリーに関する基礎的知識の学習と共に「楽しく、語り合い、ロータリーを学ぼう」をモットーとして、ロータリーの素晴らしさを共感したいと考えています。

最後になりますがこの一年間、ご理解とご支援とご協力を賜り、ロータリーの友情で私を包んでいただいた全てのロータリアンに感謝申し上げます、ペンを置きます。

ガバナー 岡部一輝

2017.6  
vol. 12

Rotary International District 2610



人類に  
奉仕する  
ロータリー